

明治三十三年十月十日午前十一時より開場仕止

西優の雄略に舊劇の

妙趣を顯き梨園の模範

とら まま
虎の巻

尾上菊八郎
市山園十郎

西澤屋千柳秋

才女渡藤清子



市山園十郎並に當番與行中儀を病氣と成り其為お與行中中止の由來
尾上菊八郎一人少く派當を全力をばり登壇私に在り外西園十郎病氣以外の大
患にて一時如何可有之哉と痛心のりし幸に梨園各の舟舟儀を以て漸く快氣を極
き愈々當與行より出動は外花柳後の差十分の勤をばりしに味し入る
べく菊八郎と兩人之顔合せ劇界の花寶相備するもの來觀奉願を以て披露
の爲に以上取付けられた

西澤屋千柳秋

